

**日本LDAPユーザ会 設立記念セミナー**

**設立のご挨拶およびユーザ会紹介**

**設立発起人代表:小田切耕司**

**オープンソース・ソリューション・テクノロジー株式会社**

**【お問い合わせ先】**

*staff@ldap.jp*

*http://www.ldap.jp*

# 講師紹介

- ◆ 日本Sambaユーザ会 初代代表幹事(1999年)
- ◆ 日本Webminユーザ会 副代表幹事
- ◆ オープンソース・ソリューション・テクノロジー株式会社 代表取締役
- ◆ 2006年5月 技術評論社 LDAP Super Expert
  - 巻頭企画
  - [新規/移行]LDAPディレクトリサービス導入計画
  - <http://www.gihyo.co.jp/magazines/ldap-se>
- 技術評論社 Software Design 2006年7月号
  - ネットワーク運用/管理 五輪書(ごりんのしょ)
  - 「壱:地の巻」Sambaファイルサーバ
  - <http://www.gihyo.co.jp/magazines/SD/contents/200607>
- ◆ 2006年5月 翔泳社 開発の現場 vol.005
  - オープンソース案件指南帖
  - 総論編:オープンソースの基礎知識
  - <http://www.shoeisha.com/mag/kaihatsu/>
- ◆ 2006年5月 IDG月刊Windows Server World 2006年3月、4月
  - 3月号:Shall we Samba?【お手軽導入編】
  - 4月号:Shall We Samba?【超本格運用編】
- ◆ 2005年10月 日経BP社 セキュアなSambaサーバの作り方
  - <http://itpro.nikkeibp.co.jp/linux/extra/mook/mook12/index.s>



# Part 1.

# 日本LDAPユーザ会 紹介

# 日本LDAPユーザ会が2007/4/1に正式発足

## ● 目的

- LDAPに関する情報交換
  - 技術情報、イベント情報、人的交流
- LDAPの普及促進

## ● 具体的な活動内容

- Webによる情報発信
  - <http://www.ldap.jp/>
- メールングリストによる情報交換
- 技術セミナー、OSC、LWCのようなイベントに参加
  - ついでに懇親会(人的交流もはかる)

# 日本LDAPユーザ会 運営スタッフ

- 小田切 耕司(オープンソース・ソリューション・テクノロジー株式会社)
- 小野寺 尚文
- 樽石 将人(レッドハット株式会社)
- 稲地 稔(NECソフトウェア北海道) : 北海道近辺担当
- 中満 英生
- 関口 薫
- 太田 俊哉(日本電気株式会社)
- 濱野 賢一郎(リナックスアカデミー)
- 武田 保真(オープンソース・ソリューション・テクノロジー株式会社)
- 佐藤 文優(オープンソース・ソリューション・テクノロジー株式会社)
- 竹内 英雄(オープンソース・ソリューション・テクノロジー株式会社)
- 宗近 龍一郎(株式会社ミュートス) : 大阪近辺担当
- 陶山 育子
- 竹澤 亮

## Part 2.

# ユーザ会設立の背景 (Sambaとの関連性)

# 現在のシステム認証基盤の問題点

- 個人情報保護法や内部統制など企業システムのセキュリティを見直したり、強化する動き
- セキュリティの基本はアクセス制御
  - 誰がどんなリソースをアクセスできるのか、定義し制御する。
- アクセス制御をちゃんとするにはユーザ認証が基本
- Windows Active Directoryを使って認証しているユーザは大変多いがユーザ数に比例してライセンス料が必要
- ユーザ認証の重要性は誰もが気付いているが、それを見直す際に他のLDAP製品を検討比較しようという意識はまだ低い
- 情報不足とエンジニア不足、コスト予測できないなど不安要素がいっぱい

# システム認証基盤構築のメリット

- ユーザが利用している認証が必要なシステム例  
ほとんどのシステムはユーザ名とパスワードによる認証
  - メールサーバ
  - ファイルサーバ
  - Webサーバ
  - Web Proxy
  - FTPサーバ
  - SSH
  - TELNET
  - SCP
  - 業務システム
- これらのパスワードがすべて違くと不便！  
しかし、すべて同じで変更も1度ですべて同期して行われ  
たらとっても便利！
- 認証基盤を統合すればそれが可能になる！

# LDAPを使った認証基盤構築メリット

- **標準プロトコルLDAPだからこそその親和性**  
OSSのSambaとOpenLDAPを使うとUnix/ Linux/  
Windows/ Mac Osの統合認証が可能になる。
- OSSを使うとクライアントに比例するCAL(クライアントアクセスライセンス)を不要にすることで、コストを大幅に削減することができる。
- 運用コストは商用製品の方が低いかもしれない。
- 導入コストだけでなく、運用コストの削減  
ユーザ管理の一元化と分散管理
- 内部統制とセキュリティの強化

## LDAPを活用したシステム認証基盤構築例

- **Active Directoryの代わりとしてのOSS認証基盤**  
OSSのSambaとOpenLDAPを使い、既存のWindowsドメインを移行したり、Active Directoryの代わりにOSSシステム認証基盤を導入。
- **既存のNISやNIS+からLDAPへの移行**  
OSSのSambaとOpenLDAPを使い、Windowsクライアントの認証だけでなく、Unix,Linux,Macの認証統合を行う。
- **Active DirectoryによるUnix,Linux,Macの認証統合**  
OSSのSambaを使い、Unix,Linux,Macクライアントおよびサービス(メール、Web、FTPなど)の認証をWindows Active Directoryを使って行う。

## Part 3.

# 今後のユーザ会運営に関して

## 日本LDAPユーザ会の今後の運営

- **みなさん、一緒に考えましょう！**
- **ご意見ください。**
  
- ユーザ会はスタッフを含め自由参加  
(来るものは拒まず、去る者は追わず)
- 活動は義務や強制ではありません。
- 情報交換と相互補助

## 日本LDAPユーザ会の今後の運営

- 会則を作るべきか？
- 会員制にすべきか？
- 会費など運営資金はどうするか？
  - 現在サーバはLinuxアカデミーから提供
  - メールサーバはスタッフの個人サーバ
  - まあ、なんとかなるだろう...
- 言い出しっぺの法則で運用か？
- 次は大阪と北海道でセミナー開催？